

小学校 生活科

<授業の前に...>

デジタルカメラで、子供たちが撮りためた写真を事前に整理し、興味・関心を把握することができた。

自分の言葉で説明させたい!

何となく分かるのではなく、はっきりと気付かせたい!

夏の様子と比較させたい!



佐藤教諭

小学校1学年 生活科 「あきをさがそう」
ねらい: 季節によって自然が移り変わっていく様子に気付くことができる。(身近な環境や自分についての気付き)

主な学習活動

指導上の留意点とICT活用のポイント

1 前時までの活動を振り返る。

・前時までの気付きを基にした振り返りをさせる。

・「くらべる」とは違いを探したり、同じところを探したりすることだと押さえる。

なつのこうていとあきのこうていをくらべよう

2 グループ毎に発見したことを用紙にまとめていく。

・**プロジェクト**で例をスクリーンに映しながら、子供たちが活動に見通しを持てるようにする。

・プリントアウトされた写真だけでは比較の観点がうまく見つけられない児童に、**タブレット端末**を使って部分を拡大して見せ、比較できないか考えさせる。

3 発表する。

・言葉だけでは説明が難しいものについて、**画像をテレビに映して**補足していく。

・必要に応じて**画像を拡大**しながら見せていく。

4 活動を振り返る。

・カードに感想を書かせる。



授業者より

<思考過程の可視化>

・語彙の少ない1年生にとって、画像を提示しながら発表することで、聞いている子供たちの思考が促され、より理解が深まった。

<瞬時の情報の共有化>

・他の友達の発見をその場ですぐに共有できたことで、「もっと知りたい」「自分も確かめたい」という意欲につながった。



共通の成果

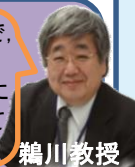
- ・思考過程の可視化
- ・瞬時の情報の共有化
- ・データの評価への活用
- ・リアルタイムの実態把握
- ・学習意欲、集中力の向上、授業の効率化
- ・主体的、自主的な活動の推進

共通の課題

- ・「従来型」と「ICT活用」の組み合わせ
- ・見取り・支援・評価に関するICT活用の更なる研究推進
- ・デジタル教材の精選
- ・環境の整備

- ・プロジェクトの大きな画面で映像資料を効果的に提示する。
- ・タブレットに画像を入れて大型テレビに映しつつ必要部分を拡大する。

ICTを効果的に活用することで、学習意欲や集中力の向上、確かな理解、授業の効率化につながることは、何でもやってみましょう。



舘川教授

中学校 技術・家庭科

<授業の前に...>

センサ付のこぎりを使用した授業では、技能の習熟が向上した。

姿勢や速度を意識したかなげずりをさせたい!

多くの生徒のつまずきを見取って指導したい!

短時間でかなの特性を理解させたい!



鈴木教諭

中学校1学年 技術・家庭科<技術分野>「生活の中で役に立つものを作ろう」
ねらい: センサ付かなを用いて、かなげずりの正しい動作を身に付けることができる。

主な学習活動

指導上の留意点とICT活用のポイント

1 前時の学習内容を振り返る。

・前時の学習結果の振り返りをさせる。

2 本時の学習内容を確認する。

・**映像資料**を見せ、本時の学習内容と学習目標を確認させる。

かなを正しく使って木材の表面を整えよう

3 かなげずりの仕方を確認する。

・**デジタル教科書の動画**を見せ、かなの動かし方、姿勢を確認させる。

4 「センサ付かな」を使った練習材の切削を行う。

・**「センサ付かな」**(=加速度センサ及び傾きセンサを利用し、動き方を分析できるかな)を使って速度、角度などを視覚的に理解できるように工夫し、練習材を切削させる。

5 ペアごとにかなげずりについてまとめていく。

・**タブレット端末**を使って、技能の習得状況を把握し、個別指導する。

・かなの切削の仕組みについてまとめさせる。

6 本時の授業を振り返る。

・本時の学習を振り返り、自己評価させる。

7 次時の学習内容を確認する。

・次時の学習内容を予告する。



授業者より

<個々に応じた学び>

・センサ付かなを使うことで、生徒が意欲的に取り組み、アプリの支援・アドバイスを基に主体的に学習できた。

<見取りと評価>

・センサ付かなの情報を教師用タブレット端末で確認することで、個別に生徒への支援を行うことができた。

